

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（60）」

2. 日時：令和4年12月7日（水）13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、森田安全審査専門職、加藤

原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官、廣田主任技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000170.html>
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和4年12月1日）
https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のスゴウです。それでは
0:00:06	平成 27 年 7 月に
0:00:23	本日
0:00:35	の出席者の紹介。
0:00:37	原子力規制庁。
0:00:39	広木清村野。
0:00:47	放射線廃棄物研究部門よりヤマダとヒロタが出席
0:00:59	現在のハママツです。原電側の出席者になりますけれども、Φ措置プロジェクト推進室から野口室長代理。
0:01:08	イマツ部長。
0:01:09	大橋グループマネージャ。
0:01:12	ノムラタナカ、河内タケゴシ、マシモサクマ。
0:01:18	あとハママツになります。
0:01:20	坂井は計画いったら、サカガミフジワラの計 12 名参加になります。以上です。
0:01:26	規制庁の杉森さんありがとうございますそれでは早速、ヒアリングを進めたいと思います。今回は 12 月 1 日付で提出いただいている資料に関してヒアリングしたいと。
0:01:39	が、
0:01:42	まず初めし、資料の 2 の方は、それはあれですよね前回の審査会合で我々の方から指摘したちょっと、
0:01:52	全体の計算過程が追えるようになっていうコメントに対して、
0:01:58	江藤、こちらヒアリング用の資料として提出いただいているっていう形でよろしいですかね。
0:02:07	日本原子炉買っただのコアシです。いえ、今おっしゃられる通り、資料につきましても、この審査会合でいただきましたコメントを踏まえまして、事の濃度というのを提示して、
0:02:18	当社の予定、計算するまでの確定をできたという形で、主に追加させていただいたものになりますので、ヒアリング対象のものと考え、
0:02:29	規制庁の、
0:02:32	足助資料の 2 の方は、ちょっと中身を確認中でして、
0:02:38	今日、コメント等できルー条件ちょっとなくてですね、もしまたありましたら次回以降の、
0:02:46	ヒアリングの際にコメントをお伝えさせていただきたいと思います。

0:02:53	だから、資料1-1ですね、主になんですけども、
0:02:58	コメントしていきたいと。
0:03:00	コメントしていきたいと思いますっていうあれなんですけども、何か事前、事前にとか、我々、確認してるんですけども、江藤元の方から、
0:03:11	ご説明しておきたいとかあればお願いします。
0:03:15	はい。日本原子炉安全のコアシです。今回提出しました資料のうち、最初の資料1-1の2の概要ですね、あとうちの1-1の概要ですけど、これについては審査会合ように今回、
0:03:28	対象となっている開設地質環境と近い案件の状態撮取についてをまとめさせていただいたものになります。ただ従前両々ありました通り、
0:03:39	評価フローのところを最初に入れさせていただきまして、そのあと資料の中では、
0:03:45	埋設地質環境の設定と生活環境の設計をまとめる形で作っておいて、こういった構成にとりあえずはしたんですが、もし審査会合の中で、
0:03:55	あと切って、議論が必要だとか、そういったご要望があれば対応したいと思いますのでよろしく願いいたします。
0:04:02	あと、補足説明資料の1につきましては、今回いろいろ表現や加えていただきましたことを踏まえまして、説明の追加等を行っておりますが、
0:04:13	ちょっと評価結果について見直しがございます、これダイソン第三条の
0:04:21	地盤の評価の中で用いている数字で、沈下量のところの数字が1mmほど変わっております。これ実はですね第3条の方の評価の内容を社内で改めてこうチェックしていく中で、
0:04:33	誤りが計算過程に誤りが見つかりまして、再評価を行った結果を反映したものです。
0:04:40	これについて少し担当の者から、
0:04:43	説明させていただきたいと思うんです。
0:04:45	お願いします。
0:04:47	日本原子力発電のサカガミで、
0:04:51	ご紹介させていただきました通り、第3条、安全機能を有する施設の地盤への適合性についての審査資料におきまして、一部誤りがございました。
0:05:03	当社もともと

0:05:06	自分の評価の中で、支持力の評価を行っておりまして、支持力につきましては国交省による評価を行っておるんですが、その国交省で示されておる係数、
0:05:20	誤った値を用いた結果、支持力を誤って評価してしまっていたと、いうのがわかりました。それを踏まえましてこの第3条に係る審査資料、すべてのですね、再度チェック、
0:05:34	していると。
0:05:34	ですが、その中で今ご説明いたしました沈下量につきまして1ミリ程度の、あまりがあったというところがわかりましたので、今回、説明資料の中で修正させていただきたいと思っております、
0:05:49	なお、第三条の審査資料におきましては、他にも誤りがないかを現在再チェックするとともに修正をかけておりますので、こちらの新3条の審査資料につきましては、それらが終わり次第ですね、
0:06:03	提出させていただきたいと、いうふうに考えてございます。
0:06:06	以上でございます。
0:06:08	日本減少だというのコアシです。そういった経緯も踏まえまして、8月10日に一度、第3条については提出させていただいたんですが、まず審査会合は先なのかもしれないんですが、再評価はしております。
0:06:21	確認を行ったものを、また、近々提出させていただきたいというお願いで、
0:06:27	事業者からの説明については以上です。
0:06:30	規制庁のスゴウです。はい。
0:06:37	廃止措置開始後の評価とか、
0:06:40	もそうなんですけどその他の条文を含めて、
0:06:43	やっていく中で、そういうのが、今後もちよっと見つかるかもしれないんですけど、
0:06:48	それは適宜修正していただければと思います。
0:06:54	ちょっと申請補正した後間違ってしまったカトウちょっとあれなんで、補正までにですね、
0:07:01	しっかりちよっと見直す作業とかも、まあまあ、今一度してもらったりとかしていただければと思います。で、
0:07:09	衛藤。
0:07:11	8月頭カーの資料。
0:07:14	について近々提出っていう話でしたけれどもいずれにしてもまた、
0:07:20	三条側今後審査会合、

0:07:24	説明とかしていただく必要があるんで、
0:07:28	タイミングとしては別にその時に、
0:07:32	出してもらえれば構わないと思いますので、はい、よろしくお願いします。
0:07:39	日本減少だってコアシです。承知しました。三重につきましては審査会合前にはすべて確認をしたものを検出して、
0:07:47	よろしくお願いします。
0:07:49	規制庁のスゴウです。よろしくお願いします。
0:07:52	資料1の一位について我々からコメントをちょっと、
0:07:59	伝えていきたいと思います。
0:08:03	またすいません資料1-1の、
0:08:05	1ページで、資料構成の話あるんですけど、これあれですかね、前回、
0:08:12	ラップアップのときですかね。
0:08:14	ちょっと資料構成わかりづらいついていう話があって、入れていただいたっていう認識でよろしいですか。
0:08:23	日本原子力発電の小橋です。そうですねコメントいただきましたので、全体がわかるようにということで資料構成等、そこに茶色の内容というのを説明する次第を追加させていただきました。
0:08:36	規制庁のスゴウ社ありがとう
0:08:37	そうすると、これは審査会合のときは、このページは削除される
0:08:47	日本原子力発電の小橋です。そうですね。させていただきます。規制庁の。
0:08:54	ただ2ページ。
0:09:01	大した話じゃないんですけども、
0:09:04	初回、初回というか、8が11に資料提出していただいた後の、
0:09:11	審査会合で、全体の概要を説明していただいているんですけども、
0:09:19	その時に同じこのウランの濃度については同じような、
0:09:26	記載をしてもらってるんですがそのあと、
0:09:30	表で濃度とかがついてたなと思って、ちょっと概要の説明と、同等の説明
0:09:39	なるとありがたいなと思ってですね
0:09:41	初回の審査会合で、
0:09:44	示していただいた表ぐらいはつけてもらえないかなと思ってますがいかがですか。

0:09:53	日本原子力発電の小橋です承知しました。初回の審査会合と同様の内容で修正させていただきます。はい。
0:10:01	ステートのスゴウです。
0:10:05	はい。次いきまして3ページの、
0:10:10	化学物質の件なんですけれども、
0:10:13	またまとめ方がちょっとですね
0:10:22	ちょっと整理をして欲しいなと思って、
0:10:26	まず
0:10:28	その想定する。
0:10:29	各日数として、
0:10:32	何があるのか、っていうのを、
0:10:35	ちょっと整理をしていただいて、
0:10:39	その上でその想定する化学物質のそれぞれについて、どういう対策をするとか影響ありやなしやっていうことを、
0:10:49	述べるような形にしてもらえないかなと思ってて、
0:10:53	衛藤。
0:10:55	ちょっとですね今
0:10:57	ヶ年性能話が上にあって、
0:11:00	下がコンクリから抽出した成分にはなっていると思うんですけども、
0:11:07	その何ていうんでしょう、このメインの化学物質考えなきゃいけないものが何かってのが、ちょっとですね文中に埋もれてたりしてて、
0:11:17	若干わかりづらいので、まずその
0:11:19	化学物質は何を想定してて、それぞれに対して、
0:11:25	どういうふうに対策、影響あるんです、なんないんですよっていうような形に、
0:11:31	してもらえないかなと思ってんですが、いかがでしょうか。
0:11:36	日本消火栓のコアシです。ご指摘いただいた通りで、確かに化学物質が何かというのが最初に来るべきなのかなっていうのは、思いがありましたので、そのように修正させていただきたいと思います。
0:11:49	規制庁のスゴウでよろしく申し上げます。
0:11:51	そうですねその際に、今一つ上、一番上に、
0:11:57	廃棄物と覆土には、
0:12:00	可燃性の化学物質ガス可燃性ガスを含めないなのか、そもそも含まれないのかちょっとあれなんですけれども、

0:12:09	ここですね、ちょっと理由がなくて、含めないとしか書いてないんで、
0:12:16	そもそも廃棄物で言えば、その金属廃棄物、コンクリ廃棄物なんで、
0:12:24	化学物質がとか、可燃性の化学物質だとかガスが含まれないとか、
0:12:30	理由も含めてちょっと記載してもらえますか。
0:12:36	日本原子炉安全の小橋です。そうですねここ少し概要になってしまったので、理由等を見ないのかなと思いますので今ありましたコメントを踏まえて提起させていただきます。
0:12:49	木瀬規制庁のスゴウですよろしくお願ひしますそれから、
0:12:53	3段落目、安全機能の自動制限機能については、として、
0:13:00	重点そのあと中間空洞の収着性の話をしてるんですけども、確か
0:13:06	この重点その中間不動安全機能から外すっちゃうようなことをしてたのかなと思ってるんですけど。
0:13:15	もしその理解が正しければ、この段落が一参らないのかなと思ったんですがいかがでしょうか。
0:13:24	日本原子力発電の小橋です。そうですね、ご指摘いただいた通りで、少し我々の方で修正漏れがあったと思いますのでここは見直させていただきます。
0:13:34	規制庁の坪です。よろしくお願ひします。
0:13:39	そしたら、次に行きまして、
0:13:43	6 ページ。
0:13:46	の評価フロー。
0:13:51	ちょっと
0:13:53	今回、
0:13:56	説明する範囲。
0:13:58	この赤
0:13:59	青点線で囲まれてるんですけども、
0:14:03	江藤本間フローに従えば、このポツの移動共同と被ばく経路って3の埋設の状態設定と、
0:14:14	1004 の生活環境の状態設定踏まえた上でこう設定される話なのかなって思ってますんで、
0:14:23	多分、結論として、その3ポツの、その埋設地の状態設定が、
0:14:29	被ばく経路とかに影響を与えるようなことがないんで、
0:14:35	4 歩 と密接に、

0:14:38	結論としてなるんで、一緒に説明をしているのかなと思うんですけども。
0:14:45	衛藤。
0:14:47	ちょっとフローとの観点で言えば、
0:14:51	3すっ飛ばして4号一緒にこう説明してしまうっていうのは、
0:14:57	どうかなと思ってて、説明しても構わないですけど、
0:15:02	3ポツがそうなんでっていう何か理由とかをしっかりと
0:15:07	書いた上で、衛藤、今回来交通も説明するっていうことを、
0:15:12	2、
0:15:13	ちょっとこう、何か記載してもらわないと、フローと合わないなと思ってるので、その点いかがですか。
0:15:20	日本原子力発電の小橋です。そうですね、今いただきましたコメントもその通りだと思います。3と4の中での項目で、
0:15:28	少し注記を入れる形で説明を受けてさせていただきます。
0:15:35	規制庁の宗です。はい。ちょっとそこが、
0:15:37	流れが、今回、フローとは違って移行が先にあるんだけど、それはさ、こういう理由でっていうのがわかればいいんで。
0:15:47	そこをお願いしますということと、
0:15:49	はい。資料の後ろの方になるんですけど、生活環境の状態設定の中で一緒に被ばく経路とかの話も
0:15:59	出るんで、
0:16:00	ちょっとここ、フロー上4と5に分かれてるんで、
0:16:04	項目を別にしてですね、資料を作成することをお願いしたいんですがよろしいですか。
0:16:13	日本原子力発電の小橋です。ここはそうですねポツの報告になってきて、作成させていただく。
0:16:19	はい。
0:16:21	規制庁の。
0:16:27	次、
0:16:30	すいません。
0:16:31	はい規制庁の大塚です。8ページになりますけれども、
0:16:35	ここで自然事象の選定をしていただいているんですが、
0:16:40	今回提出いただいた資料1-2の方を見れば、細かく書いてあるってのわかっているんですけども、おそらく審査会合の間ではこの資料1-1をベースにして説明すると思うんですね。

0:16:53	そうした時に今の記載ぶりだと非常に何て言うか、簡単に書いているので、多分これだけのその審査会合、
0:17:04	中身が確認できないと思うんですんで、資料1-2との間を行ったり来たりするってのはおそらく原電さんがもう説明しづらいと思うので、この資料1-1の中である程度その必要な情報は、
0:17:17	読み取れるようにしていただきたいと思うんですね。
0:17:20	で、
0:17:21	具体的には
0:17:23	一つ目のボックスで自然事象抽出ってありますけれども例えばここでトータル何辞書を出しましたみたいなの書いて、
0:17:32	二つ目のボックスも厚めの手法を参考っていうふうに言ってるんですけどもこれがどんなものなのかっていうのと、
0:17:40	こういった除外基準でスクリーニングをかけて最終的に都南小中しましたみたいなのところが、この1-1の資料の中である程度読み、読めるようにしていただきたいと思うんですけれども、ご対応いただけますでしょうか。
0:17:55	日本原子力発電の小橋です。今いただきましたコメントを踏まえて説明を追記するように対応いたします。はい。よろしく願いいたします。
0:18:03	津山さん。
0:18:11	今岡から申し上げました、1ページそれから9ページ、それと、資料、
0:18:22	あ、
0:18:23	できない。
0:18:30	そこに関連するものですがけれども、
0:18:35	自然事象の除外基準、
0:18:39	が、うまく整合してないところがあるように感じました。例えばですね、火山影響で、
0:18:49	除外してんですけども、埋設地から約90キロメートル高一番低いがあるということを理由に、基準、
0:18:58	実は建設した場所でも発生をし、事象発生したいんだということで除外してるに、
0:19:04	思えるんですが、第4表のところでは基準C、安全機能を損なわれることがないってことで除外をされているというようなところがございます。
0:19:14	えっとそこにも関連をするんですが、

0:19:18	基準Cというので除外をされているものが、ちょっと中身が、目指していった2種類あるように感じられました。すなわちですね。
0:19:29	事象わどこかで発生をするんだけど、埋設地のところでは、
0:19:39	そこまで、
0:19:40	もう、
0:19:41	こういう容易な情報と呼ばないとか、それから切りみたいにしても全然影響しないみたいなそういったようなお話とそれから、
0:19:52	侵食、竜巻、竜巻とかですね、台風こういったものに対する対策のような、
0:20:01	浸食、腐食の対策をしているので、影響はないんだという、多分違うものが、
0:20:09	同じカテゴリーCになっているように見えます。
0:20:12	何言ってるかという、審査の時に、事象の想定だとか、それが適切ですかっていうことを見る。
0:20:23	ものと、それから、
0:20:26	事象のに対して、対策が適正ですかということを見るもの、これ見る対象は逆に違いますので、これがわかるように分類をする方が、浸透し、審査部隊の
0:20:41	議論がしやすいんじゃないかと思いました。いかがでしょうか。
0:20:47	すいません、原子力発電の田中です。ご指摘いただきまして、ありがとうございました。基準Cの何かできていると。
0:20:57	ただですね、しっかり縮減した上で、審査し、
0:21:02	事象の想定が、
0:21:05	対してどうなのか、または別所の対策の観点、
0:21:13	その前提で言って教えていただきたいんですけども。
0:21:16	おっしゃった組織の中で、例えば発生はすれば、窓口自体に影響がないということで一つ、日比のような例というのを出していただいたんですけども、
0:21:28	本社でおっしゃった対策をとるから影響がないっていうと、として市で遵守できるっていうものの例として、これ合わせたところで一つの例を挙げていただけると、お願いできますでしょうか。はい。
0:21:44	添付資料の表ができますと、
0:21:51	保護及び保護層により保護されることから、云々って書いてあるのが、たくさんあるんですね。
0:21:57	台風とか竜巻、

0:22:02	極端に違うそれに入ってるんですが、その辺のものは、その保護されることっていうことが適切かどうかというのを見ることになると思うので、
0:22:12	こういったものと、その対象とする設備はないんであるとか、
0:22:20	そういうのは、
0:22:23	他に公開されると思いますけれども、これらを分けて、扱う1じゃないかと。
0:22:31	日本原子力発電の田中です。増加していただきますどうもありがとうございます。理解できました。土肥としていただきました観点、踏まえて、終了をしたいと思います。ありがとうございます。よろしくお願ひします。
0:22:44	規制庁のスゴウですちょっと今の点で補足させてもらおうと、
0:22:49	その埋設チェーン
0:22:53	皿の状態っていうと何かちょっとあれ、語弊があるかもしれないんですけど、要は
0:23:00	外部事象とかに対して何らかの
0:23:04	対策を打たなくても、大丈夫ですよ。
0:23:09	という話と、その対策内から大丈夫ですよというのは今言った通り、別かなと思ってて、この対策打つから大丈夫ですよってというのは、
0:23:23	元のこの
0:23:25	絵と自然現象としてピックアップする中には、
0:23:31	含まれて、
0:23:35	含まれた上で、次回以降の説明のある、
0:23:40	廃棄物、
0:23:42	埋設時の状態設定の方で、
0:23:45	そういう状態だからってということではじかれるっていうのが、
0:23:51	なんでしょう、整理としてはそっちになるんじゃないかなと思ってるんですけども、その辺がですかね。
0:24:02	日本原子力発電の田中です。詳細なご説明いただきましてありがとうございます。
0:24:08	はいご指摘いただきました井藤振替できます。
0:24:13	そうですね今教えていただきました、例えば台風、架電竜巻とかですね、ここちょっと保護層の寄って開発をしてるかどうかっていうものについて、

0:24:27	補足説明資料1の本文の方に入れて、対策のオーダー等について確認する、または場合によっては
0:24:39	営業次長参事の方に残る可能性もあると、というようなことだと思います。そのようなスキームで自然現象の抽出から、評価まで行っておりますので、
0:24:51	適切にその部分で説明をして、評価をするのかというのを検討したいと思います。以上です。はい。規制庁のスゴウですよろしく申し上げます。あと、最初に言った、
0:25:02	ヤマダから言った
0:25:05	Aの除外なのかCの除外なのかっていうのも、ちょっと今一度見直しというか、検討していただければと思いますので、よろしく申し上げます。
0:25:20	園芸種発電タナカです。ありがとうございます。了解いたしました。はい。
0:25:26	規制庁のスゴウです。
0:25:29	9ページ。
0:25:33	あと原子炉規制庁の岡でございます。衛藤。
0:25:36	9ページ3点ありまして、一つ目は単なる確認なんですけど、
0:25:40	火山影響等、地震と津波の3事象については資料中で考慮するっていう書き方にはなってるんですけども、
0:25:48	その具体の考慮については特段今回説明はないんですがこれは後段の影響事象分析の方で説明されるという理解でよろしかったでしょうか。
0:25:59	日本原子力発電の田中です。はい。ご指摘いただいた通り、今おっしゃっていただいた3章については、小浦の営業主任の方で取り上げております。
0:26:09	はい。規制庁の大塚でございますわかりました。二つ目が、これ資料のつくりの話だけなんですけれども、9ページの第2表の火山火成活動等、地震断層活動に関しては、
0:26:24	その事象をそもそも考慮すべきかどうかっていう説明がまずあって、
0:26:30	それでその中身の具体に入って、
0:26:36	といるんです。ごめんなさい。
0:26:39	その当該事象を考慮するかどうかというのがこの表第2表の方に書いてあるんですけども、一番下の隆起沈降活動に関しては、いきなりその具体の数字が書かれていて、ちょっとその表として平仄が合っていないのかっていうのは、

0:26:53	と思ひましてちょっとそこは平仄を合わせていただいた方がわかりやすいかなという気がしましたが、いかがでしょうか。
0:27:01	山部社長は清野田仲です。ご紹介がございませう。ご指摘の通りだと思ひませう。こちらとしましては隆起沈降の方にも、こちらを考慮する必要性について、まず、
0:27:13	述べた上で、状態設定の値を書くという方針で修正したいと考えておひませう。以上です。はい。規制庁の大塚でございませうよろしくおひませう。衛藤さん点目も同じように資料の作りの話だけなんですけれども、
0:27:27	9 ページの第 2 表これはプレート運動に起因する事象ですが、
0:27:34	これ、こちらの方は
0:27:38	それぞれの内訳について考慮するかしないかってのはここに書いてありますと。
0:27:42	それに対してその次のページ以降に書いてある気候変動に起因する事象等へとプレート運動と気候変動の両方にヒンズーする事象については
0:27:53	そのうち形について考慮するしないっていう話がなくて、10 ページ以降で、
0:28:00	中身の具体の設定の話がこうずっと展開されているんで、ちょっとそこも平仄が合っていないのかなという気がしてひいて、
0:28:08	後者の二つに關しても、まずその内訳について考慮するしないって話があつて、それを受けて具体の設定としてこうしますっていう作りの方が
0:28:18	平仄が合つてひいてわかりやすいかなと思ひますけれどもその点いかがでしょうか。
0:28:24	表現力発生の中です。
0:28:27	はいおっしゃる通りだと思ひませう。まず考慮するということと後及びですな、先ほどご指摘いただいた通りその根拠を明確にした上で設定しますという方針、こちらは
0:28:39	プレロードで研究所も期初
0:28:42	税理士ちゃんとできず上も同じですので、どうぞ合わせて考慮する、その根拠を踏まえた上で、ページを出したいと思ひませう。
0:28:51	ありがとうございます以上です。さっきよろしくおひませういたします。
0:28:56	規制庁のスゴウです。そうしたら、次 11 ページおひませう。
0:29:05	11 ページの、
0:29:10	括弧 A ですかね。
0:29:12	気温との関係で、その基本はその
0:29:16	降水、

0:29:18	降水量、蒸発散量、涵養量及び地下水に影響があるっていうことになって、ただその一方で、説明の順番がですね、
0:29:30	途中で海水準変動が入ってきちゃうんで、
0:29:34	何か気温と関係するものを、海水準変動も基本とは関係するんですけど南通ダイレクトに関係するものを、
0:29:44	やった後に海水準変動の方がちょっとわかりやすいかなあと思ったんで、ちょっとそこを、説明の順番だけなんですけど検討いただけます。
0:29:58	要件とか発令のタナカです。ご指摘ありがとうございます。
0:30:02	はい無敵の通り確かに、
0:30:06	実際事象の関連営業の関係を考えると思っていた通り、末松側についていうのは少し、
0:30:14	大変提供されたと思いますので、わかりやすい説明になるように、記載方法を検討したいと思います。また、今の自治体の提案、
0:30:24	は、審査資料ですね、今回の資料、資料1-2の順番にもあると思いますので、そちらの方も、きつめの流れに近い入れ替えしやすいように、
0:30:38	先生の方をお聞きしたいと思います。ありがとうございます。以上です。規制庁の少しよろしくお願いします。あとこれもす。
0:30:44	すごいしょうもない話なんですけど、11ページのこの(エ)だけが気温及び降水量になってるんで、
0:30:54	何か何、何かここだけ、まとめてみ。
0:30:58	説明なってるんですけど、内容的には別にまとまってなくても他の
0:31:03	蒸発産業とか涵養量とかと一緒にかなと思ってらんで、
0:31:06	別にし、
0:31:08	するならした方がいいかなと思ったんでそこも検討いただければと思います。
0:31:15	日本原子力 20 日目のタナカです。
0:31:18	はいありがとうございます。ページの方に参考思いますここは特に並べて置く必然性はありませんので、この茂呂の東京と合わせて、
0:31:31	若山記者となるように検討したいと思います。ありがとうございます。以上です。市長のすぐよろしく。
0:31:38	ただ 12 ページお願い。
0:31:41	はい。江藤。12 ページ、規制庁の大塚でございます。これもですね言葉じりだけなんですけれども、

0:31:48	最も可能性が高い設定が 13.3 度を切り下げて 13 度にししていると書いてあって、最も厳しい設定が 13.1 度を保守的に切り下げて 13 度にするって書いてあるんですけど、
0:32:01	切り下げ幅からだけ見ると、最も厳しい設定の方が切り下げ方が小さいのに保守的に切り下げてるのはちょっと変なのでちょっとそこは表現を変えた方がいいんじゃないかと思うんですがいかがでしょう。
0:32:14	日本原子力発電の中です。
0:32:17	はいこのですね、今日の設定については、最も可能性が高い設定できて、の、
0:32:28	エステーは 13.3 分を、最も可能性が高い設定であるということを考慮して、50 で、13.3 から 13 と設定しております。当方と厳しい設定においては、特にが、
0:32:42	施設の設定だということで、13.1 度をニュータウンと設定したと、そういう背景がありまして、このような表現になっていました。かなり裁判をしていただいた通り、実際基本幅を考えて、本当に
0:32:55	厳しい設定の方が保守的なのかっていうと資源、最もおっしゃる通りだと思いましたが、その辺が誤解を与えないような表現に直したいと思います。
0:33:06	以上です。はい。
0:33:09	よろしくお願ひします。で、今ちょっと二つの設定の方法の話があったんですけども、これってその資料を見ると最も
0:33:19	可能性が高いと最も厳しいってのは
0:33:21	数値の丸め方た。
0:33:23	どっちが厳しいかっていう話のように、この資料だと見えちゃうんですけど本質的にはそうじゃなくて、
0:33:30	はなんすかね
0:33:33	基本変動幅のどこでこう線を引いてやってるかっていうところからきてるわけですね。
0:33:39	で、ちょっとその辺が読み取れない資料になっているので、ちょっとその説明ぶりも少し合わせて少し変えていただいた方がいいのかなという気がしました単に数字の丸め方が厳しい形から強いかのように見えてしまうので、
0:33:51	ちょっとそこもあわせて、少し説明追加していただけますでしょうか。
0:33:57	表現する河瀬の田中です。申し訳ありません。ちょっと私の方で今お聞きいただいた内容が理解できなくて申し訳ないけど、もう一度、いかないでしょうか。すいません。

0:34:08	えっとですね、12 ページの
0:34:12	上に四角二つでか、文字で書いてあるところがあるんじゃないですか。
0:34:18	そこ見ると
0:34:22	確からしいか厳しいかでももちろんその下の中身よく理解してみればわかるのかもしれないんですけど、数値の基丸め方。
0:34:32	0 丸め方で厳しいか確からしいかが、間違うような書き方になっているように、いるように読めちゃうんですけども、本質的にはその下の図を見ると、
0:34:45	気候変動のうち、どこの点を通るように近似線っていうんですかね。
0:34:52	宗線を引いてるとは違うわけですよ。
0:34:55	で、要は、可能性が高い設定等厳しい設定で厳しい設定はその一番下がるところを通るように線を引いていて、そこから 1000 年後の値を、
0:35:06	引っ張ってきて数字を丸めて 13 度にしてます。
0:35:09	可能性が高い設定に関しては、
0:35:12	これは何年だ、1 万年ぐらいのところのこの 4 点の平均って言うていいんですかね。
0:35:18	大体中間をとるようなところに線を引いて行って、そこ、その近似線から線のところを引っ張ってきて 13.3 同時スタンドにしてるっていう
0:35:28	その図なんですかね。
0:35:31	その丸める前の数字の出し方が違うわけじゃないんですか。そこがですねわかるように説明を書いてもらった方がいいんじゃないかなという指摘です。というコメントです。
0:35:44	日本原子力発電の田仲です。ありがとうございます。よく理解できました。どういうふうに設定するのが素晴らしいか、またどういうふうに決定して厳しいで示しているのか。
0:35:56	なかなかそれが重要であって、まとめ方がどうかということではないというご指摘だと理解いたしました。廃止をいたしたいそうです。等を、
0:36:07	地下に前提がですね、わかるように、規制をした最後、修正して参りますありがとうございます。すいません規制庁の大塚です。ちなみに
0:36:17	文書としては単にその変化率を考慮してって、さらっと書いてるんですけどその辺をもう少しこうなんっていうんすかね。
0:36:26	もうちょっとわかりやすく書いてもらえるといいのかなというところだと思ってます。
0:36:31	現状検証関西の田仲です。

0:36:34	ありがとうございますこちらも了解いたします。説明がアンフィーてしっかり説明していないところがありますので、
0:36:44	石井先生の方の中で書いておられますので、そのところを、わかるように、明確にしたいと思います。はい。ありがとうございます。です。よろしくお願いいたします。
0:36:55	規制庁のすぐ次 13 ページお願いします。
0:37:00	降水量の設定なんですけれども、
0:37:04	ちょっとこの日、表の左側に少しちっちゃいで気温と降水量の関係の整理の流れということで、
0:37:14	どういうふうに、
0:37:16	何て言うんでしょう。
0:37:17	プロットしてみたいな、プロットしてってかどうどの点を、
0:37:21	どういう考えで、
0:37:25	もう何かピックアップしてみたいな。
0:37:27	ベシス解析式で表すとかもあるんですけど、
0:37:31	ちょっといきなりこれーが書かれて、
0:37:35	そもそも何をしようとしてんのかってところが、説明がない中でパッと書かれてるんで、
0:37:42	まず、まずはちょっと何、何をやろうとしてるのかを説明してもらいたいなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
0:37:54	兵庫県所管は清野田中です。星ありがとうございます。こちらもおっしゃる通りだと思います。まずこちらの設定の考え方、方針等ですねわかるように、
0:38:05	伝えた上で、位別にどういうあれやってるかってところからは、その記載を工夫させて、させていただきたいと思います。以上です。
0:38:16	規制庁のスゴウですよろしくお願いいたします。そしたら次の 14 ページの海水準変動の話なんですけれども、
0:38:26	ここで、
0:38:27	衛藤、加茂 G になってるところ、
0:38:31	その海水準低下量が大きく低下時期が早いほど、
0:38:35	その廃棄物の地方接近後希釈水量の観点から保守的になるっていうふうに、ちょっと書いてあって、ちょっとここのですね
0:38:46	イメージがちょっとわかんなくてですね。
0:38:49	衛藤。
0:38:51	要は下 400 メートルぐらい先にあるその海水面が、

0:38:57	下がったとして、
0:39:00	早く、
0:39:02	より低下量を大きく下がったとして、地表接近
0:39:06	の観点で保守的になるのか。
0:39:09	それから、
0:39:11	海水準が下がっ。
0:39:14	でも
0:39:15	海のその水量みたいのは、
0:39:18	減るのかもしれないですけどそれでも、
0:39:21	岸海に希釈されるっていう観点からは、あんまり変わらないんじゃないかなと思ってですねここがちょっと理由ガードーちょっとよくわかんなかったんで説明をお願いしますか。
0:39:37	日本原子力発電の田中です。としてありがとうございます。
0:39:41	すいません。ご指摘の通りだと思います。ここはですねすいません。記載をまず、修設前提でお話さしていただきたいと思います。
0:39:53	実際にですね、海水準変動、
0:39:57	能がこの間低下ケースの設定がいろいろな塩谷平均するかというと、耐専が下がることによって、
0:40:07	侵食の基準面が生活して進捗が厳しくなると。
0:40:12	いう古藤でその他について変動を評価に用いております。その進捗はですね、漠然にはしたい。
0:40:22	橋口の北側にある時間は、
0:40:25	どうも真空に影響するんですけども、興石千田の建屋の方が、染色が進んでくるとはいうマーケットの方に、久慈青木の定義が広がってきて、影響するということが自治体であり、実態であります。
0:40:42	その上でですね、こちら今記載しております。宇津野上席、そちらは今申し上げたようなニュアンスが、表現としては、ちょっとそれを考えるわかりにくい。
0:40:55	ことだと思しますのでこちらの方に直したいと思います。私は薬量の観点というのは、ちょっと福間さんからご指摘いただいた通り、一般的に機械っていうのは、
0:41:08	地下水面も下がって希釈水量するという、事象はマクロとしてはあるんですけども、具体的にだから、評価にどうなのかっていうところで言うと、

0:41:19	先ほど申し上げた通り、慎重基準の話をちょっと入れてますので、こちらでも表現としては、不要な表現だと。
0:41:29	考えておりますので、その部分を踏まえてわかりやすく、どういう発表とかっていうのを、
0:41:36	わかるように修正したいと。
0:41:38	以上です。
0:41:39	すいません土岐規制庁の大塚です。ご説明ありがとうございますちょっと1点確認なんですけれども、今久慈側の侵食って仰ってましたが、
0:41:50	廃棄物埋設地から久慈川までどのぐらい離れてるんです。
0:41:56	はい。保健所橋でタナカです。はい、河瀬知から久慈側の一番近いところまでで1.2キロ、約1.2キロある。
0:42:06	それ、1.2キロですよ。で、そこの絵とか色を考慮する。
0:42:13	ということですか。
0:42:15	それが海水。
0:42:17	準が下がると、浸食が厳しくなって廃棄物埋設地の方まで迫ってくるということをお考えだということですか。
0:42:26	日本原子力発電の田中です。
0:42:28	具体的にはですね
0:42:33	侵食を事象として抽出した上で藤川のショックと影響について評価をするということでやっておりますので、その上で評価した結果はですね、
0:42:44	資料1-2の方には、ちょっとPower Point 翻訳大事な数字を記載してあって申し訳なかったんですけども、
0:42:54	エリアの方からフェーズフェーズに向かって約20メートル程度、
0:42:59	場所が進むという結果になっておりまして、評価としては影響はないという評価になっております。以上です。
0:43:07	すいません規制庁の森田です。今おっしゃおっしゃられたのは、補足1-64号のところまで今回追加いただいたところの話ですかね。
0:43:24	愛知の主力発電の最中です。
0:43:29	はいそうです。補足1-64ページ、今回戻った。追記させていただきますので、
0:43:35	以上です。
0:43:43	規制庁のスゴウです。
0:43:47	先ほどおっしゃったように結論としては影響ないってことなんだろう。
0:43:51	うん。で、
0:43:53	ますが、一応、ちょっと

0:43:56	何します。この、この記載の心を、
0:44:01	書いてもらえればいいかなと思いますんでよろしくをお願いします。
0:44:07	日本原子力発電の田中です。はい。ご指摘の通りだと思います。修正いたします。ありがとうございます。以上です。
0:44:14	規制庁の少しよろしくをお願いします。
0:44:18	そうしたら、次、16 ページをお願いします。
0:44:26	蒸発散量の件なんですけれども、これ、二つ目の四角で、
0:44:33	また、敷地周辺と基本意思が類似した 41 地点のとかっていきなりまた出てくるんで多分、先ほどの降水量でしたっけ、41 地点と同じところだと思うんですけど、
0:44:47	そこら辺がちょっとわかるように、
0:44:52	記載してもらえればと思いますっていうことと、
0:44:56	あともう 1 点
0:44:57	最も可能性が高い設定と最も厳しい設定で、
0:45:03	その日、平均気温からコース蒸発散量を求めてこの表ですね、求めていると思うんですけど、
0:45:11	さっきその可能性が高いも厳しいもう江藤設定としては 13 度にしてると思ってて、そうすると、蒸発散量わずかに、
0:45:22	若干数値が違うんですけど、
0:45:25	数値を同じになるんじゃないかなと思ったんですが、この点ちょっと説明してもらってよろしいですか。
0:45:34	はい日本原子力発電の花岡です。藤木ありがとうございます。こちらもすみません資料にしっかり話出ていないかをいたしますが、
0:45:45	13 の設定がですね、私は高い設定と実施設でどちらも 13 度となっているんですけども、実際には金谷高山というスタッフスタンド
0:45:56	を江藤真鍋ていると、A D E K A の経営厳しいおじさんで 1 度から見ると、
0:46:03	ここで、このお正月 3 点の設定はですね、こちらの第 6 図、
0:46:09	お伝えします。臨時独占法を策定しまして減速店の式ですね、禁止キーに、温度を入れて、
0:46:20	30 銭算定するという戻ってありまして 13.1 度を入れるか 13.350 と見るかで、440450%ぐらいまで、
0:46:31	というのが違いになっております。
0:46:33	以上です。

0:46:35	規制庁のスゴウです。うん。多分そうじゃないかなと思ってたんで、ちょっと
0:46:41	そうであれば、ちょっとしっかり書いてもらえればと思います。
0:46:48	日本原子力発電の仲です。はい。申し訳ありませんでした記載したいと思います。ありがとうございます。
0:46:54	規制庁のスゴウですそれからですね次は 17 ページ G に行っていたいで、
0:47:03	江藤、二つ目と三つ目のこの四角で、
0:47:08	表面流出量で過去降水量の 0.5 ってなってるんですけども、
0:47:14	衛藤。
0:47:16	ちょっとさっき大塚からも話があったように、できればこの 0.5 の設定理由とかは、1-2 の資料を見れば、書いてあるんであれなんですけど、
0:47:27	当間できるだけ 1-1 で完結できるように、
0:47:32	この設定値の何か理由とかも含めてですね 1-1 に記載してもらえますか。
0:47:40	山部主幹は清野田仲です。説明はいたしておりませんでした。理由根拠をわかるように修正したいと思います。ありがとうございます。以上です。
0:47:50	次長のスゴウですよろしくお願ひします。
0:47:53	すいません規制庁の盛田です。今のちょっと流出係数のところに関連してなんですけれども、こちら資料 1-2 の方で、どうしてこの数字になったかっていうことの説明が一応書かれているかと思うんですけども、
0:48:10	その中で、そちらちょっと確認させていただいたときに、こちらおそらく日本下水道協会における、
0:48:17	10 た食う及び一戸建ての多い地域の流出係数っていうところで、この 0.50 っていう数値を採用されているかと思うんですけども、
0:48:27	ちょっとこれについてちょっと幾つか確認なんですけれども、まず、
0:48:31	この空気を設定したっていうところが、まず廃棄物埋設地、
0:48:38	に対して、今、その覆土のジャパンっていう、最一番上に赤棒が置いてある状態になっているかと思うんですけども、こちら埋設地の上に、
0:48:48	住居、一戸建てなり、そういう住居が建てられているっていう、そういう考えのもとで、この数値を設定されているかっていうところが 1 点。

0:48:59	もう1点が、その他にもですね、同じ資料の中ではもうそれ、漢字でやったらでしたら0.01から2.30であったりとか、
0:49:09	あとは公園であると、0.05であったりとか、あと山の工場より産地であったら0.2掛けて読んであったりとか、いくつか条件に応じて、数値が設定がされてはいるんですけども、
0:49:23	その中で、どうしてこの
0:49:27	数値を採用したかっていうところの、この考え方が少し見えないところがありましたので、ここについてはいかがでしょうかという、この2点、お聞かせいただけますでしょうか。
0:49:40	はい。保健指導の中で過ぎてありがとうございます。
0:49:44	まず、0.5、1点目についてですね、廃棄物埋設地の設定としてどうかというご指摘ですけども、
0:49:53	どちらなんですねA棟。
0:49:57	この資料について、
0:50:01	コメントいただきました内容も踏まえまして、整理しておりますけれども、ここで受ける対応量の決定における表面流資料latentという設定は、秋葉伊勢通知というですね、フローについて設定しているものではなくてですね、配置に加えて、
0:50:19	チームの敷地及びその周辺の地質関係の状態設定の値として0.5を用いているというものです。従いまして今ご指摘がありました、廃棄物埋設地の設定として正しいかという、
0:50:33	成果はですね、こちらは具体的には、廃棄物埋設地への方浸透水量の設定、それぞれに伴う浸透流解析。
0:50:43	そしたら基盤評価の方に影響してくる値になりますので、こちらの0.5という値を使うのではなくてですね、更新統流、
0:50:54	の設定等福祉取り解析、こちらの方で、どういう値を設定する新しいのかというのを、改めて別途今、加療中です。そのため、
0:51:05	実施の決定としてはまた別途ご説明させていただく。
0:51:08	遠藤さしていただけたらと考えております。
0:51:12	ただ2点目についてですけども江藤浜辺君と井内が正しいのかどちらですかということですけども、例えば今、資料の添付資料の1の水、
0:51:26	の方と資料と整合をとった回答しております。
0:51:31	推定の、
0:51:32	ここではファイリング埋設地の敷地周辺ですね、こちらのある程度広域の後、状況設置作業を踏まえた上で、

0:51:44	0.5 という数字を設定しておりますこちらの設定と整合とプレゼンをしている。
0:51:49	ということです。以上です。
0:51:52	規制庁の折田ですご説明いただきありがとうございます。確認なんですが、この廃棄物埋設地、
0:52:01	どう先ほど進みたいときには、甘い廃棄物埋設地自体というよりはその広域のところの、どう設計するっていうところを技術ケースっていうところで、
0:52:14	0.50 っていうところを使用していて、は廃棄物埋設地自体については、新通り公費導入解析について、を用いて検討し、
0:52:26	シマシ直しているような、そういう、
0:52:29	それはそれ、先ほどの挨拶自治体はまた別途、その流出どれだけ流出するかっていうところは、またこの 0.50 にはよらずまた決まるというそういう比木でよろしいでしょうか。
0:52:42	養鶏する発電の高井です。はいご指摘いただいた通りです。
0:52:47	ありがとうございます。はい。はい。すいません、石谷の流出係数が 0.5 度設定するか、どうするかというのは N I S A の浸透流解析のモデルの減と。
0:53:00	ですねどのような流れがそうするかで置き換えてどのような話で自生種の設定とかが適切かっていうことを検討しておりますので散らしていただけると整理させていただきたいと思います。以上です。
0:53:13	すいません規制庁のモリタリするもう 1 点
0:53:17	は
0:53:19	についてちょっともう 1 件確認したんですけれども、そこの浸透流解析の方では、
0:53:25	基本的にこの 0.50、この結果の流通係数 0.50 を、降雨、降雨量に掛け 0.50 を掛けて、添 0。
0:53:36	そこから蒸発量を引いた涵養量、最終的に涵養量として数値が出てくるかと思うんですけども、
0:53:44	その環境を新通解析の境界条件として与えて計算してる。
0:53:50	今の資料構成の中ではそうなってるかと思います。
0:53:53	で、そこの、そこに与える流出係数が変わってくるとかそういうところなんでしょうか。何かちょっとその辺りの
0:54:03	この浸透流解析の話と、貯留スペースの考え方、使い方っていうところの、ちょっと位置付けというか、関連性がちょっと混乱してしまってわ

	かんなくなってしまうんですけどもその辺りってどう、今はそこ自体も、
0:54:18	今 0.50 でできているその数値を変えてる。
0:54:22	ていうそういうことでしょうかそれともペンも 0 で設定して、
0:54:27	解析自体がやってみてっていうそういう形なんでしょうか。ちょっとそのあたりもう少しご説明いただけますでしょうか。
0:54:35	日本減少伊達のコアシです今堀田さんから言われる通りで、実は金融に関しては山田様からご指摘をいただいたように、孔口のボトルの
0:54:46	ブルーに、少しおかしなところがある。
0:54:49	ご指摘をいただいていますんで、解析のモデルとか境界条件っていうのを、今、来たら見直すような作業をして、その中で、涵養量の設定についても、排出、
0:55:00	この技術料の係数の設定の仕方が、妥当であるかどうかという見直しをしてまして、毎日の診療解析の中で、もう一度ご説明させていただきたいと思います。なので、
0:55:12	従前は 0.5 では徹底しておりましたが、そこは少し出した形で、
0:55:18	まとめ次第研究員を説明していただきたいと考えております。
0:55:23	規制庁の盛です。はい。規制庁森田です。ご説明いただきありがとうございます。再度ご検討いただいているところで表示いたしました。これについてはそちらの解析、ご説明をいただく際にまた検討、議論させていただければと思います。
0:55:40	4 ページまでのコアシで承知しました。
0:55:47	今、
0:55:54	うん。
0:55:55	オオツカ 3 個目。
0:55:57	うん。繋がってる。
0:56:00	これはまた別。これは別にここで、
0:56:05	ただ、
0:56:08	ルーティングっていう数字を使うと言っておきながら、実はこのケースでは、これじゃない、このケースはこうなんですみたいな話が、
0:56:16	あるような気がして、
0:56:18	ちょっと
0:56:20	ちょっとそこを含めて、
0:56:24	そうです。

0:56:26	衛藤規制庁の大塚でございますちょっと今の議論に関係してなんですけれども、
0:56:32	衛藤。
0:56:34	流出係数 0.5 を使うっていうふうに一般論的にこう書いているかと思うんですが、何か今の議論聞いていますと、あるケースでは 0.5 を使って、また違うこの子の場合には、
0:56:47	こういうやり方をしていますみたいな、今ご説明だったと思うんですけど、ちょっとそれって非常に審査をやってる側こちら側としてはコンピューティングなので、
0:56:59	何、何といたしますか、
0:57:01	こういった数字でこういう解析をします。
0:57:05	て言ったらですねそこは一気通貫して説明していただきたい。
0:57:09	ですね。で、
0:57:11	ちょっと似たような話になるんですけども、
0:57:14	17 ページの説明のところで、涵養量が値小さくなると、希釈水量の観点から保守的になる。
0:57:23	と思うんですけども、
0:57:25	反面ではその反面涵養量が大きくなると、廃棄物埋設地からその帯水層に入る、その放射性物質の量が増えるので保守的になるというふうに、
0:57:36	あってですね。
0:57:39	で、
0:57:40	一つ評価する事象によってその涵養量の大小、
0:57:46	その保守性の観点でどっちに作用するのかってのが逆転してるようになっているんですけども、
0:57:52	これってその評価上どのように扱ってるんですか。
0:57:57	廃棄物埋設地から出ていく量の計算をする時には涵養量大きくなるように設定していて、
0:58:05	衛藤希釈水量を、
0:58:09	の評価のところでは参与へと小さくなるように、やってるみたいな、そういうやり方をしてるんですが、水井はい。
0:58:18	日本原子力発電の田仲です。
0:58:21	はい、ご指摘ありがとうございます。ちょっと現状をですね、
0:58:27	大容量形状が負担での設定につきましては、気象事故運転等で変わるものということで基本的に基本、降水量の設定と、
0:58:41	同じ設定とするという。うん。

0:58:43	それを前提としておりました。その上で基本、降水量の設定、希釈水量の保守になると。
0:58:54	ということでしたので、こちらの方も同様の表現を、として設定をしていたというところがございます。その結果設定されている状態設定が、Aの17ページ。
0:59:07	その設定されている蒸発缶という涵養量の値となっております。一方でですね、今まさにご指摘いただいた通り、実際に評価としてどうなのかという観点でいきますと、この涵養量定格完了はこの
0:59:21	270とか460%って今それでありまして、この数値そのものを、他に用いているわけではございませんで、評価の方で営業する涵養量以上かつ単量の設定というのは、こちらご指摘いただきました通り、
0:59:39	浸透流解析の方で用いる年間浸透水量、こちらの設定に使うというのが実際の評価の中身であります。
0:59:51	そのためちょっとどの観点から言うのかというところで、複数指摘という表現と、帰着水道という観点、また浸透流、
1:00:01	普通の感染が随時まじってしまっていて非常にちょっとわかりにくい資料になっております。そこのところをですね、見直していきたいと思えます。具体的には、実際の評価に影響する。
1:00:13	観点でいうと、浸透流解析のインプットがある。
1:00:19	更新統資料の設定ですね、こちらの観点からご指摘であるということを目下、どういう説明説明なのかということを確認にした上で、設定を行っていくと。
1:00:30	ということで考えております。
1:00:33	以上です。
1:00:34	早野規制庁も使っております。
1:00:37	考え方はわかりましたいずれその評価として保守側になるように、
1:00:44	衛藤。
1:00:45	何ていうかね
1:00:48	パラメ穴なんて、目的に応じてその設定の仕方を変えてるってことだと思うんですけども今やっぱおっしゃられたように
1:00:57	非常にわかりにくくなってるような気がしていて、特にこの資料を最初から読んでいくと、ずっとその寒冷化した方が保守的だからというストーリーでずっときていて、最後この間要領のところだけなんか逆の書き方になってるので、読んでおやっとなるんですね。で、

1:01:12	ちょっとそこをですねどういう書き方にしてもらおうとわかりやすいのかってのはおそらく実際の全体の評価してる原電さんが一番よくわかっていると思うんですけども、
1:01:23	最終的に出していただいたこの厚いほうの資料も同じようにこれも主に言葉で書いてあるので、
1:01:30	言葉でストーリーを追っていったその寒冷化ケースでやってるんだなんて頭で途中で変わると、やっぱりそこで引っかかってしまうので、
1:01:37	そこはですね、ちょっと説明ぶりは少し工夫していただきたいと思っています。よろしくお願いします。
1:01:46	日本原子力発電の小中です。講師ありがとうございます。会長いたします。以上です。
1:02:05	すみません、規制庁の盛田です。18ページのところで、江藤行きたいことがあるんですけども、
1:02:13	こちらは10ページのところでですね、真木本堂降水量から地下水をどうなのかっていうところを検討して、その地下水から動水勾配で最終的に地下水冷食っていうところまでその下の第6表の中で、
1:02:31	どういうふうに出しているかっていうところを書かれてはいるんですけども、
1:02:36	実際はここの末気温と降水量からこういう見方をするっていうところはわかる一方で、実際にその動静勾配は変わる、影響するっていうところについては、
1:02:50	この前段のところであったの隆起であったり侵食であったりとか、そういう地形的な変化についても、実際問題は影響してくる可能性もあるかとは思いますが。
1:03:01	ただ、ここについてはその設定上のそういう話なのか、それとも、そういう地形物価等の影響、他の因子っていうところを、なぜ考慮せずにこういう動水勾配を基本と降水量のみで考えているかっていう、
1:03:17	そこの辺りが少し見えてこないところがありますので、
1:03:21	そこについてちょっともう少しご説明していただきたいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:03:28	ちょっと。
1:03:42	日本原子力発電の田仲です。ご指摘ありがとうございます。それで今ご指摘いただいた点について、持ち帰り検討させていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。以上です。

1:03:53	はい。規制庁の盛田ですご検討いただき、池構いませので、こちら、考え方を少し教えていただきたいというところなので、よろしく願いいたします。
1:04:08	日本原子力発電田仲です。はい、ありがとうございます。持ち帰り検討させていただきます。
1:04:14	規制庁のスゴウです。そうしたらえと 20 ペイジーなんですけど、これも
1:04:20	ちょっと資料の作りの観点なんですけれども、
1:04:25	ここも侵食のところですね、
1:04:28	結果しかちょっと書かれてないんで、もう少しなんでしょう、理由とか根拠とかも含めて、
1:04:38	ちょっと書いていただきたいなど。
1:04:40	江藤さっきの、
1:04:43	サイジュンす海水準変動で、久慈川から 20 メートル程度しか貨殖しないとか
1:04:53	茨城県の
1:04:56	評価で、東海村のところは会食ないとかあると思うんですけど、
1:05:01	ちょっともうちょっと根拠もこの資料上で示してもらえればと思います。
1:05:08	表面消化中です。はい、ありがとうございます。またこちらの方も記載が、答えていない部分がありましたので、根拠等を明確にして修正したいと思います。ありがとうございます。以上です。
1:05:27	はい。何か違うか。すいません。規制庁の大塚です 20 ページ。
1:05:35	等、
1:05:37	そこですね、
1:05:39	20 ページなんですけれども、
1:05:43	侵食と生物学的影響についてここで追われてるので、侵食が考えられないっていう書き方になって、その他にも江藤。
1:05:52	添付資料の 2 の方で、施設長の選定のところさっき天田からも
1:05:59	指摘があり、指摘しましたけれども、C 判定になっている。
1:06:03	アージュ C で除外しているものの中にはその方向があるので、みたいなその対策をすることで影響が、安全機能への影響がないから考慮しませんみたいなのが結構あるんですけども、

1:06:14	それらについて、ほぼその対策を前提にして、事象として落とすということであれば当然その評価機関の 1000 年間を通じてその対策 1 で維持されるということの確認というのは、
1:06:27	必要になってくるかと思ってまして、それは今後の廃棄物埋設地の状態設定
1:06:34	Dの方ですかね、そちらで説明あると思っていいんでしょうか。設計のところでは、特段その辺は触れられてなかったように思うので、
1:06:41	ちょっとその 1000 年間その対策が維持されるというのは、今後どこからどこで説明されるのかなという、ちょっと確認です。
1:06:54	なかなかですね、教えていただきましてありがとうございます。今教えていただいた点こちら 20 ページ、及び添付資料の 2 の
1:07:04	除外支援の中で除外してるものの中で、5 項、あと袋があることによって影響がないとしている点についての、1000 年鹿野日比野パンテン
1:07:15	ということだと思います。現状確かに名架空な説明が不十分である程度だと思いますので、こちら江藤等の資料に記載するのかがこの点で、
1:07:27	パンテンで規制するのか、56 万円でお知らせしていきたいと思います。こちらもち帰り検討させていただけると幸いですよろしいでしょうか。以上です。はい。規制庁の大塚ですその方向でお願いしますよろしくをお願いします。
1:07:46	規制庁の山田でございます。同じ 20 ページのところ、今はなかったんですね、侵食能速度の数字が書いてあるんですが、面的侵食、0.1 メーターパーイヤーっていう数字入ってるんですけども、
1:08:01	これはですね、
1:08:03	多分、ダム対車両から導いた、その流域の平均的な新書食う速度を出したものの。
1:08:13	運用されてるんだと思うんです。で、
1:08:16	ところが今は地表、まさに戦中の線、本当に浅いところのトレンチ処分でありますので、
1:08:25	もっとローカルな進捗のことを考える必要があって、そこにですね、この数字を持ってくるってのは、不適だと思います。
1:08:36	これ、1000 年で 10 センチ、
1:08:39	しか侵食しないというところですけども、場所によれば、メーター単位で使用するところも当然あるのが普通だと思いますので、
1:08:50	そういったことを考慮すべきだと思います。特にですね、埋設施設のところにおいて、ジャバとか置いてますけれども、

1:09:01	ここでどうなのかということについては、今オオツカのところを申し上げましたけれども、
1:09:09	ここの設定というのはそのあとの、
1:09:12	推薦の状態設定のところの話になるかもしれませんが、しっかり論証をしてですね、こういう理由で、
1:09:22	進捗が十分されてるんだということを書くべきじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。
1:09:31	日本原子力発電の田中です。教えてありがとうございます。
1:09:35	今、山尾からご指摘いただきました通り 0.1 ミリファイアという数字は、教えていただけてます通り、馬場玉野をとったことですね、地形の標高差から求められた一般的な値を用いて、
1:09:51	いうものです。こちらはですねまず、地質環境の状態設定としては、ちょうど公差芸。
1:10:00	芦郡社長と埋施設設周辺の同席をするということでこちらの値を使っていたというのが、限定率中でございます。一方で、今ご指摘いただきました通り、
1:10:12	一条池戸田子のところの進捗については若山矢が不適切というご指摘ですけれども、こちらの方踏まえまして
1:10:26	間瀬市長の進捗について、
1:10:29	説明を提起して修正して予測したいと思います。
1:10:35	以上です。
1:10:39	規制庁の弘田です。先ほど山田の方から侵食速度について等ありましたが、それ、それを、に追加するかでちょっとお願いし、コメントします。
1:10:51	0.1 ミリ%値っていうのはおそらく、藤原さんの 1999 年に、おそらくというか資料 1-2 を読むと、衛藤フジワラさんの 1999 年に書いた、サイクル機構技法を基にしているものだと思います。
1:11:06	で、資料 1-2 の図の 18 に、いろいろ詳しく書いてるんですが、衛藤フジワラさんの文献の方だと、ここまで細かい
1:11:19	がないんですね全国でしかないんですね。おそらく、そちらで計算して作図して作ったのかなって何となく想像はしてるんですが、だとしたらどのようなデータを使い、どのような計算をして、削除しましたっていうのを、
1:11:33	書いていただきたいと思います。また他から引用しているのであればそっちの引用文献から引用しましたと、というようなこともちゃんと記載した方がいいかなと思います。いかがでしょうか。

1:11:48	日本原子力発電の田中です。ご指摘ありがとうございます。決得関から ました点について、今回の不足、説明資料1の63ページの、
1:11:58	江藤少し修正をさせていただいております。今ご指摘いただきました通 りもともとフジワラ、1999の
1:12:09	範囲というお話いただいたんですけども、こちらはこちら私たちの方で 少し記載が不十分なところがありまして、こちらは核燃料サイクル開発 機構1999。
1:12:19	経て利用されていた、こちらの核燃料サイクル機構の方で引用されてい た藤原ほかの
1:12:29	図を持ってきているというものでありますので正確には、昨年で押さえ てる開発を聞いて引用されているジャンパという記載になります。その 上で修繕をさせていただいております。
1:12:42	以上です。
1:12:45	原子炉規制庁弘田です。通す、核燃料サイクル機構気泡1級とはおそら く、いわゆる
1:12:53	2000年レポートのことかなと思います。そっちでちょっと今手元にない んですがその、ずっと同じものを使っているということですかね。
1:13:03	表現力発電タナカです。はい。後、おっしゃる通りです。
1:13:17	了解いたしました。ありがとうございます。
1:13:21	ありがとうございます。
1:13:22	規制庁の折田です。ちょっとこちらの20ページのところで別でもう1 点お聞きしたいことがあるんですけども、
1:13:31	えっとですね(4)のその他の事象のところではセグ通学で期限表のこ とが書かれています。こちら方向があって影響はないっていうところで、 資料1-2の方でちょっと見させていただいたんですけども、
1:13:49	こちらの具体的な内容としては方向があることで、もぐらん類の影響 は受けない報告があって僕らが入ってこないっていうようなご説明がさ れています。
1:14:00	一般でキーにですね今にジャカゴなり方向なり置いてっていうところ で、上から入ってくることがないっていうのは理解はできるんですけども、
1:14:14	実際もぐら一般的に言われて僕らの動きとして、1メートル程度を深さ まで掘り進んでそこから数十メートルから数百メートル程度まで横方向 に穴を、トンネル掘るっていうようなことを言われておりますので、

1:14:30	それやるとすると、若干上から入ってこないにしても横から入ってくるってことがあるんじゃないかっていうふうに、ちょっととらえられるのかなと思います。
1:14:41	なので、この方向があるから、
1:14:47	大丈夫ですよっていうところについては少し、もう少し瀬、
1:14:53	説明を補強していただきたいかなというふうには思いますこちらの資料1-2の方の話にもなりますけれども、そういうふうに考えております。あとそちらの中でですね、1-2の生物学的指標の中で、樹木の植生の話もされてはいるんですけども、
1:15:11	途中についても同様に
1:15:14	自然の植生っていうところがなぜ
1:15:19	変えない、これはないってということをおっしゃってるかと思うんですけどもなぜないのかってところの説明も少しありませんってところだけではなくて、少し理由も書いていただきたいかなというふうに思います。
1:15:31	以上です。
1:15:35	日本原子力発電の田中です。教えてありがとうございます。
1:15:39	五味の通りちょっと理由ですね、今日記載が不十分なところがわかりましたが、こちらの高規格中へ移っていただきたいと思います。以上でございます。
1:15:49	よろしくお願いいたします。
1:15:54	そうです。
1:15:56	21ページなんです。これもすいません。
1:16:01	建設業従事者の状態設定で、状態は影響しないとしか書いてない
1:16:07	何で提供しないから、
1:16:15	日本原子力発電の田仲です。
1:16:18	ご辞退等ございます。はいこちらもすいません、本庁が不十分ですので、提出させていただきます。以上です。はい、規制庁のスゴウよろしく
1:16:30	支店長の山田でございます。
1:16:41	現況債権回収。
1:16:43	ということをされて、
1:16:46	風向きの中では、
1:16:49	西から東へ行くかが再現されておるといふふうに報告が書かれています。

1:16:54	まず、
1:16:56	書かれているんですが、まさに 22 ページの左側の図と右側の図、左側、観測水位ですね、右側、解析の汚水ですけども、これを
1:17:09	平賀の観測水位のある、
1:17:12	観測値のある領域のところずっと拡大して重ねてみたんですけども、
1:17:20	概ね合ってるという言い方はあるのかもしれませんが、大分形も違うし、値も違うものになっている。
1:17:30	というのがこちらの評価です。
1:17:35	考えたんですが、これ再現されているので、一方いろんな検討も解析水のものでやっていきますっていうそういう立場で今書かれているかと思うんですが、
1:17:48	むしろですね、
1:17:51	今、家族整備これを、どういうことを言ってるかっていうことを理解しようとして、解析のこういうことをやってみて、回ってるところもあるんだけれどもまだ、
1:18:01	きちんとあってということにはなっていません。
1:18:06	ね。
1:18:08	会社にも条件変えれば、また違うような流れも大阪出てくるんだらうと思います。で、
1:18:14	そういった理解の状況だということ認識した上で、
1:18:22	もし、
1:18:24	この
1:18:26	83 施設からの地下水の流れが北側であるとか、西側こういったところに行くような形になった場合について、
1:18:35	その話して、関連するわけでは、
1:18:39	今の中でいけないので、それについて評価を行います。また、建設したときは、そちらに向けて、廃棄物が流れている。
1:18:50	ないのかどうかっていうモニタリングをしますということで、対策を打っていくんだ。
1:18:56	というような説明の仕方にすべきではないかと思うんですが、いかがでしょうか。
1:19:08	はい。日本原電車関係でございます。
1:19:12	ご指摘いただきました 22 ページでまず 1 点目の再現解析におきましては、今おっしゃられる通り細かく見てですねそれぞれの各地点の水位が合ってるかとかですね。

1:19:24	今回配置に対しても、細かいところだとすると、というのは、ご指摘の通りだと認識してございます。
1:19:33	ここ我々としましてはやはり、このは一位、
1:19:40	ずっと埋設してると。
1:19:42	これの地下水の流向方法。
1:19:46	これがうまくさえできてるかというふうに言った観点で見て、赤津ですねそれが全体の地下水の流れですね、
1:19:55	そって、
1:19:56	見て、のコンターから見てもわかるような、仲田市から大きく右側に
1:20:04	向かって流れていくと、というようなところが増えるという観点で、このような記載をさせていただいております。
1:20:13	ただしですね、2点目でご指摘いただきました通り、
1:20:18	最終的にこちらで解析ですとか、検討としては我々そのように考えてございますが、評価といたしましては、西側へ行くような、可能性が否定できないのでそういう場合の評価もやるですと。
1:20:34	今後、観測をしていくと。
1:20:37	いうことは考えてございますので、ご指摘いただきました通り、このように解析はしているものの、そういうところを踏まえて評価ですとか観測をしていくというのを、
1:20:49	がわかるように記載させていただきたいと思っております。
1:21:00	院長の山田でございます。
1:21:04	そういうそういうことだと思いますが、私
1:21:09	依然としてですね
1:21:12	排出、
1:21:14	埋設地、
1:21:15	周辺においても、この解析が妥当だという、
1:21:20	ふうに、
1:21:23	なんていうか、
1:21:24	あまり強く主張するのは、いかがかと思えます。渡瀬別に
1:21:30	この観測を全く日、おかしいと否定してるとか、解析は全然違うと言っているわけではない、ないんです。こういった解釈は十分あり得ると思うんですけども、
1:21:41	他の解釈が十分消せていますかということはずっとお聞きしています。それで、今解析も概ね合っているとおっしゃいましたが、例えばですね、

1:21:53	先ほど流通は 0.5 というのを与えられていましたけれども、ある砂地に対する流出の割合と、流出係数とはおそらく違うと思います。
1:22:05	このさっき言ったそうだとちょっと率が小さいんじゃないかと思うんですが、
1:22:09	そうすると、それで解析をされてみればいいと思いますけどもそうすると、
1:22:15	この
1:22:17	町を含む来さすの部分ですね、砂丘の部分、ここの降雨による浸透割合が多くなるので、分水嶺的な位置をもっと
1:22:28	今は、
1:22:29	観測が一番西側に寄っていて、解析が少し、それより東側にありますが、今のような設定をするともっと東側の方に移動してくると思います。
1:22:39	ですからそういうこともあり得るんだと思うんですね。そういった幅の中で、どう対処するのかと、いうことだと思います。
1:23:00	はい。日本原燃坂上でございます。ご指摘いただきました通りですね、条件も含めて、おっしゃられるように、
1:23:10	すべて学校の現象を再現できてくるかという観点では、やはりそういうレベルではないというふうに思っておりますので、ご指摘いただいた慎重な文章も含めてですね、
1:23:23	修正検討させていただきたいと思います。
1:23:26	よろしくお願いします。
1:23:32	あ、すいません規制庁の盛田です。
1:23:39	24 ページのフォローで、ですね、ちょっと意見をお聞きしたいことがあるんですけども、お聞きしたいというか確認なんですけれども。
1:23:51	こちら第 14 図と第 15 図で、解析ケース 1 とケース 2 の解析結果を載せていて、それに対して観測孔観測結果との比較っていうふうなことがされてはいるんですけども、
1:24:05	これ観測孔としては一番から 8 番まで、ゆは執行のデータがあるかと思うんですけども、
1:24:13	それぞれフェーズ 1 では一番から 4 番まででケース 2 では 5678 だけっていう、
1:24:20	それぞれの解析結果に対して、比較する対象が違うっていうところが、ちょっとパッと見たときに、なぜこれはこの、ここを

1:24:31	文章の方でもう少し書いてはいるんですけども、なぜ1234は、真子欠席と比較してケース2はなぜ、その他を隠してってしたのかっていうところが、あとわからないようなちょっと形になっていますので、
1:24:44	解析した場所よりも、南側、南側なのか、これは南側の部分は、
1:24:54	結果として、そういういった境界の位置が、少し奥歯っていうところに来てるような結果になっているので、そういうところを再現するのは、こういう条件にした時はこうなります。で、
1:25:07	5678の部分、五、六はちょっと出てないですけど78の結果を再現するために、こういう検討をして、合うような条件はこういうことになったっていう、そういう、ちょっと
1:25:20	解析、観測結果っていうものが、実際どういうものであったそれに対して条件をどう打ったかっていうところ、ちょっとそこまでこの1ページに書けるかどうかっていうのもあるかもしれないんですけども。
1:25:32	ちょっとどういう観点で、その比較、解析結果等を
1:25:39	観測データと比較してるかっていうところを少し
1:25:44	整理していただいた方が良いかなというふうに思います。
1:25:50	はい。日本原子力発電の阪上でございます。ただご指摘いただきました点、観測点の違いですね。
1:25:58	ちょっとこの後のページで書き込めるかどうかも含めて、検討しますがいずれにしてもご指摘を踏まえた修正として、検討させていただきたい。
1:26:09	ありがとうございます。あともう1点ちょっと括弧
1:26:11	ですけども、以前、現地調査に行かせていただきましたけれども、観測孔の4番のところが、
1:26:21	以前海側の一番右側のところで、見せていただいた観測孔が、それで4番のところに当たるということですかね。
1:26:33	日本原燃阪上でございます。その通りでございます。
1:26:36	わかりました。なので、4番のところってところが、敷地内の
1:26:45	一番地盤た地盤というかシマ施設として、工事型工事というか、
1:26:51	コンクリートが引かれてってような形がされていて、7番8番のところっていうのは、どちらかという天然の状態に近いような、ある、ある貸していただいたような状態になっているっていうそういう、
1:27:04	認識でよろしいですかね。
1:27:08	日本原子力発電のサカガミですはいその通りの認識でございます。わかりましたありがとうございます。

1:27:17	規制庁のスゴウです。
1:27:21	25 ページ以降の生活環境の状態設定は、
1:27:27	ちょっと冒頭のほうで申し上げた通り、
1:27:31	放射性物質の移動、京都被ばく経路の話は、ポポツとかですね、また
1:27:40	別にしてまとめてくれてもらえたらと思います。
1:27:45	そうすること解消するのかもしれないんですけど、若干字がちょっとち っちゃくてですね、日、非常に
1:27:55	いや、読みにくいんで、もうちょっとページをふやしても構わないん で、
1:28:00	もうちょっと字を大きくしてもらえるとありがたいです。
1:28:04	日本原子力安全のハウチンです。
1:28:07	コメントありがとうございます承知しました。4 ポツところと分けてか つもしちょっと小さすぎますので、大きくして次第をふやして、ご説明 させていただきます。
1:28:17	以上です。はい、成長のスゴウですよろしくお願いします。
1:28:21	あと資料 1 の一井へのコメン等は一通りしましたが、規制庁側で何か他 にあります。
1:28:30	よろしいですか。
1:28:31	はい。
1:28:33	そしたら、
1:28:38	元の方で何か、
1:28:40	資料 1-1 で確認したことと違ってありますか。
1:28:46	全体の川瀬こちらは特にございません。はい。はい、規制庁のすみませ んありがとうございます。引き続き、資料 1-2。
1:28:54	コメントを伝えたいと思います。
1:28:57	衛藤規制庁の森田です。以前、ラップアップのときに、こちらからいく つかコメントを出させていただいて、それに対して、
1:29:07	いろいろと情報を追記、修正していただきありがとうございます。で、 修正いただいたところを中心にですね、幾つかちょっとまた確認させて いただきたいことがあるので、そこについて幾つかお伝えさせていた だきます。
1:29:22	まず 1 点目がですね、補足 1 の 21 位かな、
1:29:28	1-21 でないか。

1:29:32	すいませんちょっと場所が、ページスパンが違って、すいませんちょっとページ番号がわかんなくなってしまうて申し訳ないんですけども、液状カーのところですね、
1:29:43	液状カーの数値について、
1:29:48	どこで、設定したものを使ってるかっていうところの説明は補強をしていただいたかと思います。できる13ページが1-13ページ。
1:30:01	そこ、12ページ3ページ、12ページの下で第3条のところ検討結果を使っているってところの説明は追加していただいて、それについて確認できました。
1:30:14	で、少し考え方の確認をさせていただきたいんですけども、こちらでこの状態設定のところ話をしているのは、その地層地盤
1:30:26	の劇場化について、ゆっくり進行していくってところと、水平に均衡していくってところで、そんなに
1:30:37	廃棄物埋設地をおり曲げたりとか、そういう影響を与えるような、液状化が起きないですよというようなお話をされているかと思います。そちらについては理解できたんですけども、
1:30:49	これは地盤
1:30:52	についての話ってところなんですけれども、実際に上に住んでいるその複合であったりとか低透水性度層であったりとか、その辺りがその地震が起きたりとかっていう時に、
1:31:03	マージし、液状化、不安定化するってというようなところについては、こちらについては確認や検討っていうものはされているんでしょうか。
1:31:12	これはちょっと廃棄物埋設地の状態設計、補足3の方の話になるかもしれないんですけども、こちらについて、どのように考えられておりますでしょうか。
1:31:23	要件就活飯野タナカです。ご設計ありがとうございます。
1:31:27	工藤の液状化についてですけども得票は向こうは状態にありますので、液状化の発生というのは発生しないということで、主幹長の予定で考えております。以上です。
1:31:43	規制庁の盛田です。ございます。とそちらがそういうような考え方ってところは、どこかに書かれていたりしますか。
1:31:58	青柳広川清野金岡です。うちもねすぐに回答できませんので後確認した上で、もし十分な説明がなければ、補足。
1:32:09	大江社長にさせていただきたいと思います。以上です。院長の方に対する、ありがとうございますその形で結構ですのでよろしく願います。

1:32:19	では続きましてですね、1の24ページ。
1:32:26	になります。
1:32:29	こちらですね、
1:32:35	暖かさ指数の話が1-24ページのところでされているんですけども、ここチラーについてちょっとお聞き考え方を聞きたいんですけども、
1:32:45	9段から少し下辺りのところですね暖かさ指数を決めるときに、埋設地付近が、将来的に、あんたい信用住民、
1:32:57	田井沼尻と阿藤冷温たいから、寛大信用樹林群の境界付近であったとするってというような書かれ方がするんですけども、
1:33:08	これは今現状の日本のこの辺り地形、結構気候区分でいくと、恩田伊井に工夫されるようなものかと思うんですけども、
1:33:18	これは、将来的な気候変動で、気温が上がった1000年後先ほどの資料の中でも1000年号は13度です。
1:33:29	ここ程度になるっていうようなことがされていましたがけれども、その13度に下がったら、この気候区分欠点の気候区分として考えたときに、
1:33:40	0大家反対の辺りの気候区分に変化するっていうそういうような話になるのでしょうか。
1:33:50	日本原子力発電の田仲烈ご指摘ありがとうございます。
1:33:54	ちょっとこの記載がですね少しばかりになってしまっている加工されなかったんですけども、今ご指摘いただいた、
1:34:04	団体、針葉樹2と温帯のところを徹底するここはですね、段落の一番立ち返っているんですけど、将来の標記最盛期の
1:34:17	基本設定を用いているものです。
1:34:20	具体的にお話を申し上げますと、
1:34:26	一番至近の、
1:34:28	氷河期の最盛期ですね、一番早かったで、これが大体2万年ぐらい前なんですけれども、その時の植物の
1:34:38	分布状況がどうなっていたかっていうのを文献値で確認しております。この時の、
1:34:46	あと、一番至近の表記ですが一番高かった時、
1:34:51	ファインディング大分借金が、艦隊針葉樹リングちゅうと、ゼオンたいアパートヘシールディング集の町会であったと。
1:35:01	文献で確認しております。このため将来のレアケースの状態設定を行うにあたって、まず、将来の表記の一番、

1:35:13	シャンクなんですね将来の標記の最盛期の気温を、この暖かさ指数 46 という前回のものを用いて設定すると、いうことを行っております。
1:35:25	瀬谷仲西 46 を用いた用いて、将来の投票記載的な機能を 4 度と設定をしております。その上で 4 度、
1:35:37	向かって、そのような演歌リリースで気温が下がっていくのかっていうところで設定をしておりますして、1 万年までは、まず、90%だから、
1:35:49	等流せつをして、70%、
1:35:52	すいません、可能性の高い 70%ですけども、必ず言う設定をした上で 1000 年後はどうかというところで、
1:36:02	例として、
1:36:05	その点として 23 の榎並清野でございます。
1:36:08	以上です。
1:36:09	規制庁の森田です。ご説明いただきありがとうございます。ちょっと私が勘違いしてた部分もあったのでご説明いただいた内容で流れがよくわかりました荒でございます。
1:36:19	では、辻井、
1:36:24	何か
1:36:26	補足 1 の、62 ページのところですね。
1:36:40	次のところの侵食の話になるんですけども、
1:36:46	こちら、1-62 ページのところ、下に修正していただいた部分があるかと思えます。江藤廃棄物埋設地については 5 号、
1:36:59	その上にジャカゴを設置するため、
1:37:03	侵食は考えられないっていうようなことが書かれているんですけども先ほど山田の説明でも、その背景の S G 自体が侵食するっていうのはどう考えてるかっていうところにも関連するんですけども、
1:37:16	実際その若干恒設した場合、赤線であったりとか、設置した場合っていうのは、吸い出し防止剤をこの下にしていて、その場合は河川の流れとかにもよるので、
1:37:29	ここ、今回考えてるような風土はまだ少し条件は変わるんですけども、吸い出し防止剤を入れて、その下にある土砂の流通を防止するっていうようなことが一般的にはされています。
1:37:42	これは河川での話にはなって直接当てはまるかっていうところは考えなきゃいけないところであるんですけども、
1:37:52	実際にこちらのこのように若干ここから、その下は侵食しませんっていうような説明が、そういうところを踏まえると、本当なのかなっ

	ていうような感じ方をしてしまうので、少し高機能については先ほどの、
1:38:06	侵食、どれだけ侵食するかっていうところも、話も踏まえて、少し本当なぜ侵食しないのと考えられるのかっていうところについては少し説明を補強していただきたいかなというふうに思います。以上です。
1:38:22	日本原子力発電の田中です。ご指摘ありがとうございます。
1:38:26	今申しあげました設定させていただきましたところですけども、ちょっと教えていただけ取り出しにちょっと記載がですね、許可後の観点のみでなっていて、少し不足してる部分があるかなと。
1:38:42	機械がですねこれをアンケートしてるので、泊に打ち上げました通り、NG次第ですね施設を移設をするという件に関しましては、こちらも設計上検討しているところでありまして、
1:38:57	せっかく安達が死亡したい。そうですね。5のA棟、
1:39:02	下に敷くと、それによって浸透水量は浸透量を別途十分確保するということを検討しております。また、年、
1:39:13	寺尾の下の方同数の進め方名を行うこと等も行いまして就職に対する対策をとっていくということを考えております。
1:39:23	以上のような点をですねもう少し具体的に記載をして、
1:39:31	足達城の侵食が発生しないこと、こちらの説明の根拠を補足充足したいと考えております。以上です。
1:39:39	規制庁の盛田です。ご説明いただければと。
1:39:43	については少し補強していただくというところでよろしく願いいたします。今の点に関してちょっと1点確認なんですけれども、以前ですね、臭くて交渉との間のところっていうところは、
1:39:57	フィルターだったりとかをかませないで砂を充填してっていうところで、以前はフィルターを買わせる形にしていたけど、それはしなくなっただけという説明をいただいたかと思えます。
1:40:08	ただ、今のお話だと、碓井館防止材上のジャカゴの下には接着吸い出し防止剤のようなものを敷くってというようなことが、検討されてるっていうところだったんですけれどもそうすると、
1:40:23	以前までの審査会合で覆土の設計の話をしていただかと思うんですけれども、設計の中で、
1:40:30	追出し防止剤っていうものも設計の中に入ってくるというそういう認識でよろしいでしょうか。
1:40:39	日本原子力発電の田中です。どうも御てありがとうございます。すいません。今は学者をされました後、押田伊井についてはですね

1:40:49	正式に設計の中でどのように入れていくかというところまで踏まえて、審査書にまだ反映できていないってところも、
1:40:57	ありまして一般的に、染色同斜の時にそういうものを敷設するというところで考えている。
1:41:04	というのが現状であります。どちらも踏まえて記載のほうを検討させていただきたいと思います。以上です。
1:41:12	わかりました。ちょっとそちらどのようにされるかというところは実にご検討のほどお願いいたします。
1:41:20	ですね、もう1点がですね、藤さんする方のところ、補足域の
1:41:33	市野そうですね43ページのところでですねスレートの方のところが書かれてはいるんですけども、
1:41:42	小チラー、こちらよりも、あれですかね、補足添付資料1の整理の方で見た方がいいですかね。衛藤徳一の添付1-5別-5の、
1:41:55	2か、新居さんのところですね。このところの話引用されてっていう形なってるんですけども、以前ロックアップの時に、
1:42:05	そうすると一っていうのが、日本での各アメリカで基本的に考えられているその式に対して、日本でどうかっていうケースを与えて、最終的な業務産業を出すっていうようなやり方かと思うんですけども、その中で、今回の
1:42:22	若干食う
1:42:24	が追われているようなものっていうのとあとは植生が今全くない状態っていう、基本的にこの他、コンクリート法の考え方っていうのは植生がある状態で、更地の状態で考えてるかと思うんですけども、
1:42:37	今回のCOCOコードで追われて植生のないような状態っていうそういう状態で、適用できるのか、この考え方をですね、っていうところについては、どうなんですかっていうところについて少しお聞きしたんですけども、こちらについては今後説明いただくっていう形によろしいですかね。
1:42:57	日本原子力発電の田仲です。
1:43:00	遠藤氏ありがとうございます。今、人材派遣については、先ほどちょっと私が説明してなかったんですけども、10倍設置の敷地内の周辺の状態設定というところで、はい、埋設地、
1:43:15	の工藤に対しての設定というよりも設置の地質環境の全体の設定を行うという観点で存する河野。

1:43:28	提供しているというところでして、こちらのについては政令の同等性事 っているというのが事実関係の状態設定の今の記載となっております。 一方で今見ていただきました、地上の
1:43:45	設定として、そのスレート後、あれですね蒸発散量設定で電力というの が増えている場合の治安が適切かどうかというご指摘だと思いますけれ ども、こちらはですね先ほど
1:43:59	別途ご指摘いただきました、ごめん入出濃度流出係数 0.5 の徹底と同様 にですね、実際に八丈島施設の評価において、
1:44:12	更新統水量がどのように浸透していったって、年度評価には明記をするのか というところの評価に効いてくるものであります。そのため、流出の徹 底等を合わせて、循環、
1:44:25	一方、今検討中のございまして、また別途ご説明させていただきたいと 考えて、
1:44:32	以上です。
1:44:34	規制庁の盛田です。荒でございます。こちらについてはもう先ほど話と 同じということで理解いたしました。なのでこちらについてもまた別途 ご説明いただく際に議論させていただければと思います。よろしくお願 いいたします。
1:44:49	で、えっとですね、西郷になるんですけれども 1-58 ページ。
1:44:55	ところでですね。
1:44:58	こちらはちょっと通知的な話になるんですけれども、56、まず 56 ペー ジ、1-56 ページですね。
1:45:08	こちらでですね、表第 14 表の中で、12 ヶ月間の降水量とあと D-4 の 一位の平均の疎水。
1:45:19	情報が記載されています。これが 2006 年から 2019 年までの数字が記載 されているかと思えますけれども、その次ですね、第 15 表、こちら が 1-58 ページにありますけれども、
1:45:34	こちらも 2007 年から 2019 年までの D-4-1 高の推移が記載されてい ます。
1:45:41	で、この第 14 表と 15 表を比較したときに、
1:45:45	若干数値が違うんですね。
1:45:49	へ、どちらも水位を平均をとった TP を変えていくかとは思いますが けれども、ちょっと数値が合わない部分があって、
1:46:01	これはその集計された期間とかにもよるのか、上のものを見た感じだ と、10 月から 9 月っていうふうな関わり方をされていてその下は年しか 書いていないので、

1:46:13	もしくは集計のされ方が違うというところもあるかもしれないんですけども、
1:46:17	水の流れとしては降水量から水を出して、その水から実際に
1:46:27	どうせ勾配がどれぐらいかっていう、出す流れになるかと思うので、
1:46:31	単純に考えると、
1:46:34	一応、14 で出した水のデータをそのまま用いて計算した方が、作っていくのかなというふうには思うんですけども。
1:46:44	ここの整理の仕方だが、なぜちょっとこういう差が出てしまっているのかっていうところについてご説明いただけますでしょうか。
1:46:54	日本原子力発電の金川です。ご清聴ありがとうございます。江藤。出荷しました点について第 14 号と第 10 号の川のデータの違い。
1:47:05	次ですけどもご指摘いただきました通り集計する期間の違いによるものです。
1:47:12	第 14 以降の
1:47:14	ところでは者は 2006 年の 10 月を始まりとして 1 年間、一方で第 15 項の方は 2.7、としてですね、この
1:47:25	年の暦年の推移、平均を出しているということで、若干違いが出てきているんですけども、こちらはですね
1:47:34	第 14 章の方で 10 月から始めているというところで年平均ではないというところが一つあるんですけども、こちらはですねこの
1:47:45	第 44 の年間の 1012 ヶ月の降水量と、ついこの間ペイを終えるため、B 検討をしたところ、
1:47:57	一番相関関係がしっかり出るフォローを
1:48:03	期間を設定しているという
1:48:06	評価を行っております。というのはですね、実際にその雨が降ってきて、それが A 棟 B4-1 の F-111、
1:48:16	検証するというのが雨が降れば水位が上がるというのは間違いないと考えているんですけども、その間にですね涵養されて地下水となって流れていくということでタイムラグが通じるというのがあって、
1:48:30	年で年の年間降水量と、私の平均のコース、ついこの間に比べただけではなかなか
1:48:45	記録ができないっていうところがあります。そのため複数の時間を切って、実際確認したところ、相関がしっかりとれる配備っていうことで聞きたい。
1:48:57	1 年、これで評価して、

1:49:00	その前のページはですね、おっしゃった通り降水量から水を、の消化を確認した上で、S Eと臼井工場、
1:49:10	が発生するということで自分で相関がしっかりされているところを展示して説明するというところにフィットしておりますので、このような配置ができています。
1:49:22	以上です。
1:49:24	規制庁の盛田です。ありがとうございます。なので今ご説明いただいたところっていうのはまず降水量っていうところは、降水が降る、まず最初の降水量が1ヶ月間の降水量というものがあって、
1:49:38	それに対応する、平均的な期間の推移を出しているんですけど、それに対応した変動を見てみるとときには、こんな時間を見たときには、
1:49:49	その降水量自体の影響っていうのはもう少し遅れて出てくるっていうところもあって、直接降水による影響っていうところは、おんなじ期間を見たとしても、すぐには出てこない。
1:50:01	で、それを見るためには、切り方を少し、後に、後ろ倒ししてるのかなと思うんですけども、その内を直した期間について、
1:50:11	水を出してやって、その推移を見て、どうせ勾配を出してっていうのがその降水の影響っていうところを見て、どうせ勾配の変化を見るっていうところについては、
1:50:22	一番良い見方になっているとそういうことですかね。
1:50:29	小木曾長谷の田中です。はい。ご指摘いただいた通りです。三森です。ありがとうございます。ちょっとその有井のどういう考え方で整理したかっていうところについて、少し
1:50:42	わかるようにしていただいてよろしいですかね。ここについては、
1:50:48	電源車関西の田中です。はい。了解いたしました。期間が
1:50:54	新しく対応している点、またその理由、放水量のずれとですね、もう少し説明をさせていただきたいと思います。以上です。
1:51:04	清町の盛田です。ありがとうございますよろしく願いいたします。
1:51:08	いいですか。すいません規制庁のオオツカでちょっと今の議論でよくわからなかった点がありまして、
1:51:14	雨が降ってから実際地下水に反映されるまでに遅れがある。それはその通りだと思うんですけども、
1:51:21	これが仮に3年とか4年とかそういった短い期間の調査であればそういう扱いをすることもあろうかなという気はしてるんですけど今回この13年間調査しているわけじゃないですが、

1:51:32	そうすると多少遅れがあったとしても、
1:51:35	評価全体ではそうなんですかね、毎年ある程度の遅れが出てくるということなので、
1:51:44	長期の調査をすればそこで平滑化されるんじゃないんですかってのがまず一つと。
1:51:50	あと今のお話だと、資料1-1の19ページの、
1:51:56	第7図と第8図の関係でいくと、
1:51:59	第7図の刀禰平均地下水等第8図の絵と横軸の値平均地下水ってのはこれ意味合いが違うってことですよね。
1:52:07	ということでもいいんですよね。
1:52:11	日本原子力発電の田中です。大丈夫だなんていう、そういうのは、
1:52:18	12ヶ月コース衛藤資料1-1の19ページの第7図になります。
1:52:23	はい。
1:52:26	会計消しました、こちらの方へ。
1:52:31	きっと。そうですね期間の切り方が違ってきますね。はい。
1:52:37	期間の検討ではね。はい。
1:52:42	そうすると、そうすると意味合いの違うねん。
1:52:45	平均地下水を使って動水勾配って出せるんだ出すことに、どのぐらいには、
1:52:55	表現するかってのタナカです。こちらはですね
1:53:02	投信公開を出すための方法として、音声量と地下水の双眼及び地下水と動水勾配の相関というものを見ていくということが、とも目的としております。
1:53:14	なので実際に放水量、すべての対象として期間を、同じAとDたTHA 期間で見るというのは必ずしも必要ないと考えておまして、有賀近いところで相関がしっかりとれるところ、
1:53:30	放水量と地下水でまずそこを確認した上で、地下水と雨水勾配の相関を、を確認するというように考えております。
1:53:40	以上です。
1:53:42	今相関がしっかりとれるところでおっしゃってましたけれども、補足1-56ページの期間が10月から9月の間、10月から翌年9月の間、
1:53:53	でやってるわけですよね。で、
1:53:57	そこを選ばれたってのは何なんですか。例えば9月から8月7月から8月とかずっとやっていってそこが一番層厚が綺麗だったってことですか。

1:54:10	保健所川瀬野中です。はいおっしゃる通りですと1ヶ月刻みで相関を懸念して、そこがしっかりというところ、こみております。
1:54:20	以上です。はい。規制庁の大塚ですありがとうございます。
1:54:27	そうその期間に関しては、何かいくつかあるわけじゃなくて一番相関がとれたところで設定しましたっていうことですよっていうんですね。
1:54:39	はい。ソフトウ原則発生のタナカです。はい降水量と大戸地区製品の相関があるという前提でデータを整理した上で、最もそこは良いところをとっているというところですよ。以上です。
1:54:53	規制庁の大塚です。その最も相関が良いところでとりましたってそこはわかりました。で、そうした時に、この動水勾配の設定値って最終的な評価でかなり効いてくると思うんですけども、
1:55:06	逆に相関が悪いところでやったらどのぐらいなんですか要はその評価のやり方が違うことで不確かさがどのぐらいあるのかということなんですけれども、その評価とされてますでしょうか。
1:55:19	日本原子力発電の田仲です。
1:55:22	ご指摘いただいた点については相関のいいところ悪いところで、すべてグラフを作って確認をしております。だから今すぐに評価が悪い、あそこが悪い場合に、
1:55:35	寺田さんっていうのをご説明するノグチのもとに提示ないので、持ち帰り確認した上でご回答させていただけないでしょうか。規制庁の大塚です。よろしくお願いします
1:55:47	江藤相関が悪い、悪いところでやったときに、
1:55:50	何て言いますか。
1:55:52	悪いところであった場合と良いところであった場合で、その動水勾配にどのぐらいの違いが出るのかってところをちょっと確認しておきたいと思ってます。よろしくお願いします。
1:56:01	日本原子力発電の田仲です。はい、了解いたしました。
1:56:11	話ちょっともう規制庁の弘田です。よろしくお願いします。話ちょっと戻るんですが、江藤盛田の方から侵食の話があったと思います。衛藤です。資料1-2で補足。
1:56:21	補足1-62から数ページにわたって指標化されておまして、資料1-1の20ページでも、侵食のことが書かれていて、複数指摘あったと思いますので、
1:56:33	気になったんですけども

1:56:36	資料構成として、資料侵食のところが面的侵食とB、過食年海食というふうになってるんですね。で、面的侵食というのが項目出しとしてあるにもかかわらず、
1:56:49	埋設地に、より大きな影響を与えそうな線的侵食に関して全く書かれていない理由浸食とかがり侵食みたいな、線出力について何の言及もないんですよね。
1:57:00	ちょっと、多分そっちの方が重要になってくると思うので何らかの記載があった方がいいのではないかなと考えます。
1:57:09	で、おそらく、僕、若干古藤の方5の長期待機体制に関する指摘があって、それに関して、
1:57:19	説明を補強するという話もありましたので、多分その辺りで、赤色のことを記載しないと、多分それ書けないんじゃないかなという気がするので、
1:57:29	一緒に書いていただければなと思います。
1:57:32	以上です。
1:57:35	日本原子力発電の南部です。ご出席ありがとうございます。ご審査通りだと思います。橋口間瀬氏、包括した場合の点滴新設、
1:57:44	特に薄いですね、推測ついでの項目をしっかりと立てて説明というところで実は土肥させていただきたいと思います。
1:57:55	以上です。市長、規制庁弘田ですよろしくお願いたします。
1:58:05	規制庁のスゴウです。資料1-2についてのす。コメントは以上になります。
1:58:13	資料2の方は冒頭申し上げた通り、
1:58:18	外交に気づいた点があればお伝えします。
1:58:22	今日の
1:58:23	メニューは一通り李お伝えしたんですけれども、
1:58:30	何か原燃の方から確認とかありますでしょうか。
1:58:37	日本減少のコアシですご確認ありがとうございます。
1:58:41	確認をして資料1-3は特にコメントがあって、規制庁の方に対する以前、市野さんについてコメントを出させていただいて包含関係のところかわからないというところについては、
1:58:56	なぜ、介護活動であったりっていうところについてなぜ包含されるかっていうところも理由を補強していただいたかと思いますので、そちらについては理解できましたので、大丈夫です。
1:59:10	その他の点についても今のところをはい、大丈夫です。

1:59:16	深山選手勝野コアシですありがとうございます。こちらの確認については、
1:59:22	規制庁のスゴウです。衛藤。資料の、そうですね、1-11-2で、特に
1:59:30	自然現象のその抽出選定のところで、
1:59:35	江藤、その対策っていうところは、
1:59:40	そのあとの埋設地の状態設定のところちょっと、
1:59:45	記載すべきではないかというような、
1:59:48	どうするのがいいのかってのは検討いただければと思うんですけど。
1:59:52	若干資料、ちょっとこう入り入れ替えじゃないですけど、そういうのもあるかなと思って、
1:59:59	若干大変かもしれないんですが、ちょっと審査会合の日程とか踏まえると、
2:00:08	ちょっと資料の提出を
2:00:11	来週月曜日にはお願いしたいなと思ってるんですけども。
2:00:16	対応を可能でしょうか。
2:00:23	基本研修勝野コアシでちょっと確認さして相談させてください。はい。
2:00:37	面積伸縮的リル侵食、取っかかり侵食みたいなやつを話ししてる。
2:00:48	コメン等を書いてある野山さん言わないからなんですかね、作っている。
2:00:58	どっか。
2:01:11	皆理由侵食が意識ができない。
2:01:14	本当に極時間、
2:01:15	延べの流れ、
2:01:17	違う。
2:01:20	13朝一だった。
2:01:22	基本小学生の小橋です。すいません。お待たせしまして、今回、たくさんご指摘をいただきましてありがとうございます。で、少し検討が必要などころについては、一つ、10日というのは、
2:01:37	もしかしたら厳しくなるのかなと思ってまして、可能な限り表現文書の表現とか、説明が足りない部分追記等是对応したいと思いますが、
2:01:47	検討のところで少し抜けてしまう。
2:01:51	というようなことになっても、それは
2:01:54	大丈夫でしょうかという確認なんですけど、いかがでしょうか。規制庁のスゴウです。そうですね
2:02:00	検討中というか、

2:02:03	その旨がわかるようにとりあえずしておいていただいて、
2:02:09	最終的に、
2:02:12	江藤なんでしょう。
2:02:13	審査会合の資料の提出までには、間に合ってもらえれば、
2:02:19	それ見て、我々コメントが必要だったら、審査会合でもコメントしますんで、
2:02:25	当間できるだけすいません 12日に間に合うように、ちょっと頑張っていたけるとありがたいんですけど、ちょっと無理そうなところはしっかりと明示していただいて、
2:02:39	資料作ってもらえればと思います。
2:02:44	基本検証活動におきまして承知しました。かぎり修正を行って、追いつかないところはその上、
2:02:53	記載するのか、停止というふうなものを、
2:02:57	追加している。
2:03:02	はい。
2:03:03	規制庁のスゴウ。
2:03:04	それでは本日のヒアリングは非常に行きたいと思います。
2:03:10	ありがとうございました。
2:03:13	ました。ありがとうございました。